少人数学級と教員不足の解消で
子どもたちが安心して学べる学校に

「3密」・過密学級をゼロにしてください

川崎では、小学 4 年生以上の約 30%、中学生の約 70%が 36 人以上の過密学級で学んでいます。コロナの感染拡大が繰り返される今、子どもたちが一番長い時間を過ごす教室が「密」な状態は一刻も早く解消しなければなりません。

そもそも、OECD 平均である 20 人程度の学級に比べ、学級規模が大きすぎます。少人数学級による学級規模の縮小が不可欠です。

教職員の欠員をなくしてください

「教師不足」が全国で広がっています。

学校では、病気休職や産休・育休の代替教職員が見つからず、他の教職員や管理職が授業等を行うなど深刻な実態があります。欠員をなくすことと、過労死ラインを超えて働く教員をなくすことは待ったなしです。

請願事項

1. 川崎市で 30 人以下学級をめざし、当面36人以上の過密学級をなくすこと。
2. 教職員の欠員をなくし、長時間労働をなくすこと

氏　　名	住　　所

市外の方も、未成年の方も、署名は有効です。いただいた署名は、請願提出以外には使用いたしません。

取扱団体　ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会

送り先　〒211-0011　中原区下沼部 1880／川崎市教職員連絡会／TEL・FAX：044-433-1413

署名締め切り：　2022 年 11 月 30 日（12 月議会に提出します）